

平成31年3月22日  
江戸川区役所  
第一・第二委員会室

## 第1回 江戸川区消防団運営委員会 次第

1 開 会

2 委員長挨拶

3 新委員の紹介

4 報 告

前回の諮問に対する答申結果の概要説明・・・資料1

5 議 事

(1) 諮問について

「特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか」  
・・・・・・・・資料2～5

6 そ の 他

(1) 江戸川区内消防団の現況・・・・・・・・別添え1

(2) 江戸川区内災害の状況・・・・・・・・別添え2

7 閉 会

### 【配付資料】

- 資料1 「特別区消防団運営委員会の答申を踏まえた対応方針について」
- 資料2 「東京都知事からの諮問文書」
- 資料3 「江戸川区消防団運営委員会 審議予定(案)」
- 資料4 「特別区消防団運営委員会への諮問事項について」
- 資料5 「江戸川区消防団運営委員会答申骨子(案)」
- 別添え1 「江戸川区内消防団の現況」
- 別添え2 「平成30年中火災・救助等災害状況」

# 特別区消防団運営委員会の答申を踏まえた対応方針について

## 1 諮問事項

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、消防団の活動能力を強化するための方策はいかにあるべきか（審議期間：2016年11月から2018年3月まで）

## 2 諮問の趣旨

近年、各地で地震・水災等の大規模な自然災害が発生しており、東京においても直下地震等による大きな被害の発生が予測される中、「地域密着力」「要員動員力」「即時対応力」を兼ね備えている消防団には大きな期待が寄せられている。

また、特別区消防団は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）の開催都市の消防団として大会の成功に向け、大会開催期間中の災害の未然防止と災害発生時における人的・物的被害を最小限にとどめるため、消防署隊と連携した警戒を実施する必要がある。

このことから、東京2020大会に向けて、消防団の活動能力を強化するための方策について諮問するものである。

## 3 答申及び対応方針

	主な答申内容	対応方針	対応年度
活動体制の整備	応援による警戒に伴い、消防団員の所属や身分の識別が必要	・消防団員証の更新等	31年度以降更新予定
	<b>消防団の応援による警戒を実施するため、関係規程に消防団の管轄区域外の警戒の規定が必要</b>	・ <b>特別区消防団の災害活動等に関する規程の改正</b>	30年度以降改正予定
活動環境の充実	<b>夏の暑い時季の警戒となるため、警戒員に対する熱中症予防対策が必要</b>	・酷暑対策用被服の整備（活動用帽子、ポロシャツ、Tシャツ）	31年度整備予定
	<b>警戒中に発生した火災に対する消火活動時の負担の軽減が必要</b>	・50mmホース・ <b>ガンタイプノズルの試行</b>	30～31年度試行実施
	夏の暑い時季に発生する、ゲリラ豪雨等による水災への対応が必要	・水害対策用資機材の整備（フローティングストレーナー・強力ライト・フロートロープ）	31年度整備予定
	<b>発生した傷病者に対応するため応急救護能力の向上が必要</b>	・ <b>AEDの整備</b>	30年度整備実施
	広範な警戒範囲に対応するため迅速で確実な消防団相互の情報共有が必要	・アプリケーションを活用した情報共有の検証	31年度検証予定

主な答申内容		対応方針	対応年度
活動能力の向上	多数の来場が予想される外国人への対応能力の向上が必要	・ コミュニケーションボードの整備 ・ <u>英会話講習の実施</u>	31年度以降整備予定 30年度講習実施 31年度講習予定
	多数の来場が予想される聴覚障害者への対応能力の向上が必要	・ 手話講習の実施	30年度講習実施 31年度講習予定
	<u>警戒等に必要な教育を効果的に行うため、教育環境の向上が必要</u>	・ <u>e-ラーニングシステムの活用による教育訓練の推進</u>	30年度から試行実施
	警戒に必要な体力の維持向上が必要	・ 消防団応援の店ヘスポーツクラブの加入促進	31年度加入促進予定
消防団の活性化策	来場者等に対する消防団の広報のため消防団のアピールが必要	・ 酷暑対策用被服に対する消防団マーク等の表示	31年度整備予定
	消防団の活動力を確保するため更なる入団促進が必要	・ 機能別消防団員の導入促進	30年度から導入促進実施
その他	東京2020大会の警戒により消防団の負担が増加することから、消防団の行事の整理が必要	・ 団点検・操法大会の実施方法の検討	30年度から検討実施

#### 4 参考

資機材	諸元等
活動用帽子・Tシャツ・ポロシャツ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通気性や速乾性のある素材を採用し、着心地を向上</li> <li>・ 消防団マークやバックプリント等の表示による消防団の広報効果を期待</li> </ul>
フロートストレーナー 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 吸水量：最大1,500ℓ/m</li> <li>・ 水深2cmまで吸水可能</li> <li>・ 水面で浮かんだ状態で吸水し、水底に堆積物が多くても対応可能</li> </ul>
強力ライト 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力(明るさ)：15W(900ℓ-mx)</li> <li>・ 電源：充電式リチウムイオンバッテリー</li> <li>・ 連続使用時間：2時間15分</li> <li>・ 防水性能：IP56</li> </ul>
フロートロープ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロープサイズ：直径9mm×22m</li> <li>・ 材質：ポリプロピレン製</li> <li>・ 水面に浮く機能を備え、足元が冠水した状態でも住民の避難誘導時に誘導ロープを見失うことがない。</li> </ul>

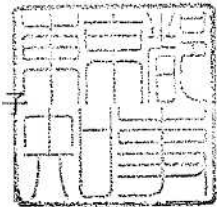
平成31年3月22日



30東消防消第1092号  
平成31年1月21日

江戸川区消防団運営委員会  
委員長 多田 正見 様

東京都知事 小池 百合子



特別区の消防団の設置等に関する条例（昭和38年東京都条例第53号）第4条の規定に基づき、別紙のとおり諮問します。

## 1 諮問事項

「特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか」

## 2 趣旨

近年、日本国内において地震や台風等様々な災害が起き、各地で甚大な被害が発生している。

ここ東京においても首都直下地震の発生が危惧されているところであり、消防団は消火活動や救出救助等において正に地域防災力の要としての活躍が期待されている。

そのような中、特別区においては基本団員を中心とした消防団員の確保のため様々な募集広報活動を行っているものの、現在、消防団員は減少を続け、地域防災力の低下が懸念されているところである。

また、消防団員の全国的な減少から、総務省消防庁は特定の活動、役割のみに参加する消防団員である「機能別団員」の制度導入を各自治体に要請してきたことところであり、さらに平成30年(2018年)1月には「消防団員の確保方策等に関する検討会」の報告書により、大規模災害時に消防団活動を行う機能別団員の導入についても提案がなされたところである。

このことから、機能別団員の更なる拡充等、特別区消防団の組織力を強化するための方策について諮問を行うものである。

## 3 審議期間

平成31年(2019年)1月から平成32年(2020年)3月まで

## 4 答申期日

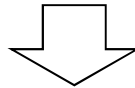
平成32年(2020年)3月31日

## 江戸川区消防団運営委員会 審議予定(案)

諮問事項	「特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか」
------	---------------------------------

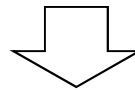
審議期間：2019年1月から2020年3月まで

第1回運営委員会 2019年3月22日	前回諮問の答申報告 今回諮問事項の趣旨説明・大項目の抽出
------------------------	---------------------------------

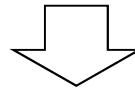


必要に応じて各消防団へアンケート実施

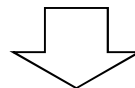
第2回運営委員会 2019年9月下旬～10月上旬	答申骨子(中・小項目)の抽出・検討 次回の委員会開催スケジュール
-----------------------------	-------------------------------------



事務局	審議内容を踏まえて答申案を作成
-----	-----------------



第3回運営委員会 2020年1月下旬	答申案の検討・承認(答申決定)
-----------------------	-----------------



2020年3月31日までに答申

# 特別区消防団運営委員会への諮問事項について

## 1 諮問事項

特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか

( 審議期間：諮問日から2020年3月まで )

## 2 諮問の趣旨

近年、日本国内において地震や台風等様々な災害が起き、各地で甚大な被害が発生している。ここ東京においても首都直下地震の発生が危惧されているところであり、消防団は消火活動や救出救助等において正に地域防災力の要としての活躍が期待されている。

そのような中、特別区においては基本団員を中心とした消防団員の確保のため様々な募集広報活動を行っているものの、現在、消防団員は減少を続け地域防災力の低下が懸念されているところである。

また、消防団員の全国的な減少から、総務省消防庁は特定の活動、役割のみに参加する消防団員である「機能別団員」の制度導入を各自治体に要請してきたところであり、さらに2018年1月には「消防団員の確保方策等に関する検討会」の報告書により、大規模災害時に消防団活動を行う機能別団員の導入についても提案がなされたところである。

このことから、機能別団員の更なる拡充等、特別区消防団の組織力を強化するための方策について諮問を行うものである。

## 3 現状



基本団員

### 任務・役割

- ・消火活動
- ・警戒
- ・防火防災訓練指導
- ・応急救護訓練指導
- ・募集広報活動
- ・大規模災害（震災・水災）活動 など

### 位置づけ

- ・団本部
- ・分団

### 階級

- ・団長
- ・副団長
- ・分団長
- ・副分団長
- ・部長
- ・班長
- ・団員

### 処遇

- ・報酬 42,500円 / 年（団員の場合）
- ・費用弁償 4,000円 / 回
- ・退職報償金 200,000円（勤務年数5年以上10年未満で団員の場合）

### 給貸与品

#### 給与品

- ・冬帽 1
- ・冬服 1
- ・夏帽 1
- ・夏服 1
- ・活動服 2
- ・活動服（薄型） 2
- ・兼用外とう 1
- ・ネクタイ 1
- ・ワイシャツ 1
- ・バンド 1
- ・短靴 1
- ・編上げ活動靴 1
- ・ゴム長靴 1
- ・アポロキャップ 1
- ・手袋 1

#### 貸与品

- ・階級章 2
- ・襟章 2
- ・活動用雨外とう 1
- ・防火帽 1
- ・防火帽しころ 1
- ・防火服 1
- ・保安帽 1

## 4 方向性

### 機能別団員の更なる拡充

一昨年から消防団員確保のため、機能別団員の受入れが始まっているところですが、進んでいない状況です。このことから、各消防団において機能別団員を受入れるために必要なことについて審議します。

機能別団員

全ての消防団活動を行う基本団員に対し、特定の任務や役割を行う消防団員

### 大規模災害団員のあり方

震災等大規模災害発生時の消防団の活動力の確保のため、消防団員を確保することが重要です。このことから、各消防団において大規模災害団員を受入れるために必要なことについて審議します。

大規模災害団員

震災等大規模災害時に消防団活動を行う消防団員

### その他、組織力強化方策

現在の消防団の組織力を強化するため、消防団の魅力向上・活性化策、効果的な入団促進・退団抑制策、装備資機材の整備等について審議します。

## 5 検討事項

### 任務・役割

どのような任務・役割の機能別団員が受入れられるか？  
(例) ・ 応急救護訓練指導を行う機能別団員  
・ 大規模災害時に活動する大規模災害団員 など

### 位置づけ

どこに配置するのか？  
(例) ・ 団本部  
・ 分団 など



機能別団員

大規模災害団員

### 処遇

報酬、費用弁償、退職報償金は基本団員と同じでよいのか？  
(例) ・ 基本団員と同じ ・ 増額 ・ 減額 ・ なし など

### 階級

階級は基本団員と同じでよいのか？  
(例) ・ 基本団員と同じ ・ 団員に固定 など

### 給貸与品

給貸与品は基本団員と同じでよいのか？  
(例) ・ 基本団員と同じ ・ 任務や役割に必要な給貸与品に限定など

### 対象

どのような人に担ってもらいたいのか？  
(例) ・ 消防団のOB ・ 東京消防庁のOBや非常勤職員  
・ 区役所職員 ・ 女性 ・ 学生 など

### その他

必要な資機材や訓練など



## 6 検討事項

### 魅力向上・活性化策

処遇改善など消防団の魅力向上に必要なことは何か？

### 入団促進・退団抑制策

効果的な募集広報はどのような広報か？

### 装備資機材の整備

軽量化など消防団活動の負担を軽減するための装備資機材はどのような装備資機材か？

江戸川区消防団運営委員会答申骨子(案)

資料5  
平成31年3月22日

諮問事項

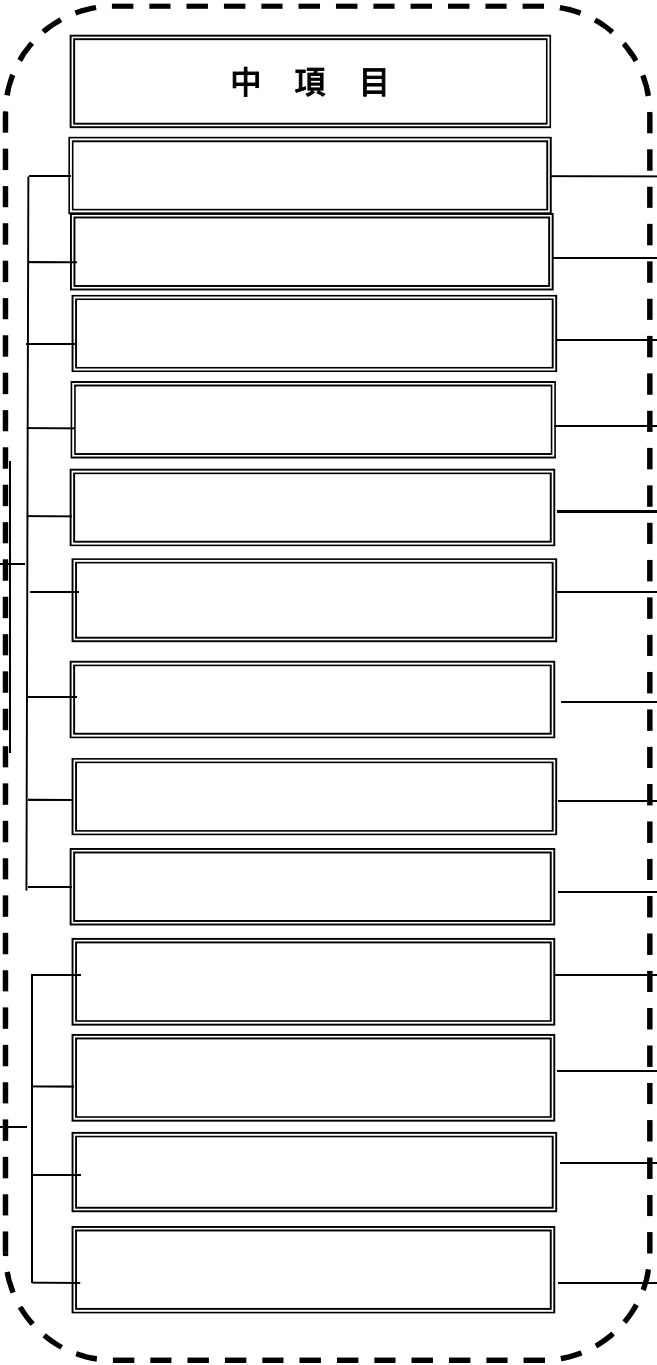
特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか

大項目

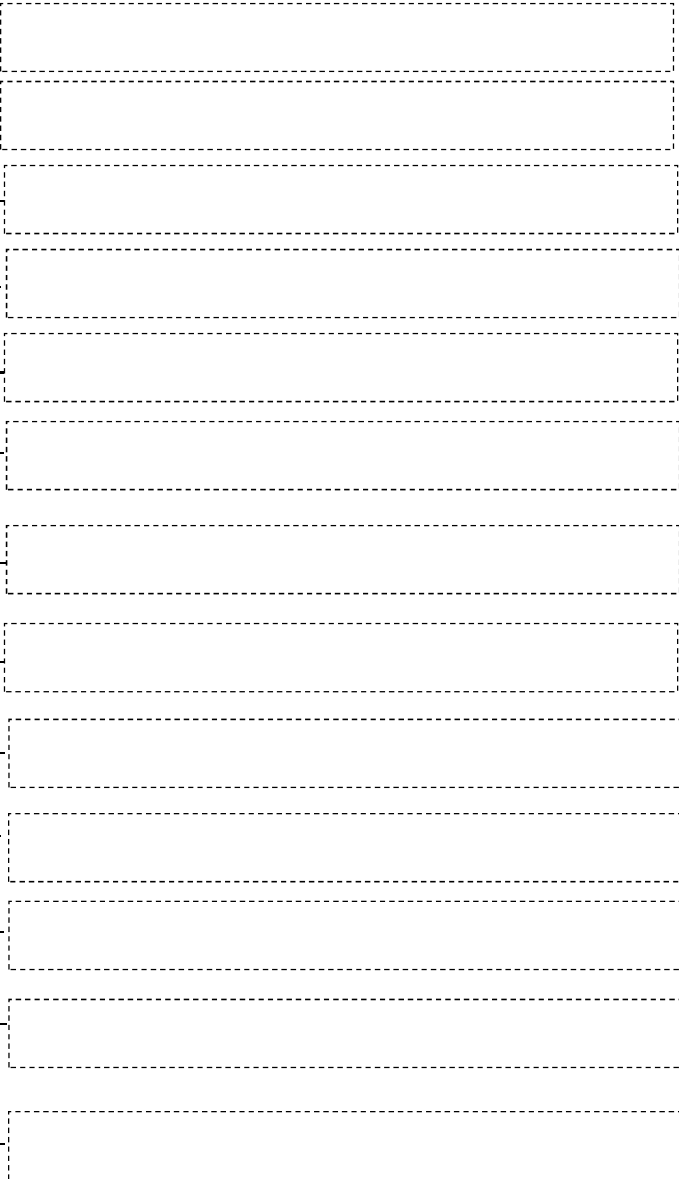
機能別団員の更なる拡充

大規模災害団員のあり方

その他、組織力強化方策



細項目



## 江戸川区内消防団の現況

平成 3 1 年 3 月 1 日現在

	江戸川消防団	葛西消防団	小岩消防団
団 長 名	渡邊 辰雄	秋山 隆繁	村瀬 光一
副 団 長 名	池田 定市	巧見 順一	佐藤 誠
	渡邊 登	櫻井 道夫	伊藤 一徳
	山崎 洋行	関口 政男	小宮 敏昭
	赤井 一博	野間 勇	駒井 英雄
	平田 光男	江森 秀幸	石井 紀明
			関根 勝敏
分 団 数	1 0 個分団	8 個分団	8 個分団
定 員	3 5 0 名	3 0 0 名	4 5 0 名
現 員 ( )内は女性内数	3 0 3 名 ( 3 0 名)	2 2 9 名 ( 4 1 名)	4 1 6 名 ( 5 2 名)
充 足 率	8 7 %	7 6 %	9 2 . 4 %
可搬ポンプ数	3 2 台	1 5 台	3 1 台
平成 30 年度の 主 な 活 動	1 東京都消防操法大会 小岩消防団 第七支部代表 平成 3 0 年 1 0 月 6 日(土) 2 江戸川区消防団点検 平成 3 0 年 1 0 月 2 1 日(日) 江戸川右岸河川敷 篠崎緑地 3 消防団始式 小 岩……平成 3 1 年 1 月 1 3 日(日) 葛 西……平成 3 1 年 1 月 1 3 日(日) 江戸川……平成 3 1 年 1 月 2 7 日(日) 4 各種講習会(幹部研修、資格取得) 5 訓練(震災、水災、都民指導) 6 装備整備(資器材点検「毎月」) 7 火災予防運動(春、秋) 8 区、地域行事の警戒(区民まつり、花火大会、歳末等)		

別添え 2

平成 31 年 3 月 22 日

## 平成 30 年中火災・救助等災害状況

(平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日現在)

		江戸川区内	江戸川消防署	葛西消防署	小岩消防署
火災件数		173件(1)	64件(6)	51件(1)	58件(8)
建物火災	全焼	3件(2)	0件(2)	1件(1)	2件(1)
	半焼	6件(1)	2件(1)	1件(0)	3件(0)
	部分焼	23件(0)	5件(6)	9件(5)	9件(1)
	ぼや	78件(5)	30件(9)	22件(7)	26件(11)
車両		15件(6)	4件(1)	7件(3)	4件(2)
その他		48件(1)	23件(9)	11件(3)	14件(5)
焼損面積		1243 m <sup>2</sup> (46)	340 m <sup>2</sup> (113)	108 m <sup>2</sup> (19)	795 m <sup>2</sup> (140)
死者		4名(0)	2名(1)	1名(1)	1名(2)
傷者		40名(8)	12名(9)	8名(3)	20名(14)
救急	救急件数	38,139件(1621)	13,740件(852)	12,716件(393)	11,683件(376)
	救護人員	33,682名(1393)	12,346名(728)	10,993名(317)	10,343件(348)
救助	救助件数	900件(60)	319件(18)	268件(22)	313件(20)
	水難件数	35件(7)	12件(4)	9件(2)	14件(9)
	救助人員	719件(28)	239件(21)	233件(3)	247名(4)
危険排除		335件(21)	75件(7)	92件(3)	168件(11)
PA連携		6,612件(381)	2,349件(67)	1,878件(264)	2,385件(50)
放火火災		47件(21)	24件(7)	10件(10)	13件(4)

( )内の は前年比マイナスを示す。

焼損床面積が100 m<sup>2</sup>以上の火災および死者が発生した火災

	月日	覚知	場所	面積	死者
江戸川	5月25日	0時53分	大杉5-29	0 m <sup>2</sup>	1名
	9月25日	0時58分	松江5-8-10	268 m <sup>2</sup>	0名
	10月1日	20時47分	松島2-19-21	18 m <sup>2</sup>	1名
葛西	3月14日	7時55分	北葛西5-18-1	35 m <sup>2</sup>	1名
小岩	3月24日	2時52分	南篠崎町2-45-14	48 m <sup>2</sup>	1名
	11月1日	14時8分	東小岩2-7-12	528 m <sup>2</sup>	0名